

## 町長あいさつ

羽幌町は、これまで5次にわたる総合振興計画を策定し、時代の変化に柔軟に対応しながら、町民の皆様とまちづくりを進めてきました。

この間、羽幌町を取り巻く社会情勢は、少子・高齢化社会の進展による人口減少・若者の流出、過疎化の進行による経済全体の縮小、国や地方の財政状況の悪化、地球環境問題など、時代の潮流は大きく変化し、急速に地域の元気、活力が失われつつあり、こうした状況を住民と行政が課題を共有し「協働のまちづくり」のもとで、解消していかなければなりません。

また、国の地方分権改革が推進される中で、地域が「自主・自立」に向けた取り組みに力をつぎ込み、健全な行財政運営のもと、選択と集中による特色あるまちづくりが求められています。

新しい総合振興計画では、まちづくりの基本理念に「心と心をつなぐハートコミュニケーションはぼろ」を掲げ、平成33年度を目標年次とする「町民主体による協働のまちづくり」の指針として策定いたしました。

この基本理念のもと、目標の実現に向け、計画的な行財政運営、産業基盤の強化、地域医療の安定確保、社会福祉の充実、教育環境の整備など山積する難題に取り組み、町民から遠い存在の行政を身近な行政に、そして町民との直接対話を重視し、協働の気持ちの醸成に努め、地域力を強固にまちづくりを進めていきます。

この計画の策定にあたり、町民アンケート調査（町民、20代・30代の子育て世代、小中高校生、企業）、まちづくりはぼろ委員会での大変貴重なご意見やご提言をいただきましたこと、また、慎重審議をいただいた羽幌町総合振興企画調査審議会、町議会議員並びに関係団体の皆様に対し、厚くお礼申し上げますとともに、今後とも羽幌町の発展のため、一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年3月

羽幌町長 舟橋 泰博

